家庭教育学級新聞

第25号　H29.10.31
発行　山武市教育委員会
生涯学習課

親子で楽しく！芸術の秋

世界に一つだけの「マイランチョンマット」を創ろう！と、なんごうこども園の年中・年長さんが小さな芸術家に変身！ママ・パパと一緒に色の不思議を感じながら、絵の具をたらしたり吹いたりはじいたり。個性豊かな作品ができました。

水をぬったら、好きな色をぽったん！
ふーっと吹いて広げると・・・

むつみのおか幼稚園　9月21日(木)

赤と白を混ぜるとピンクになるよ。

できあがったポストカードは
どれも素晴らしい出来栄え！

なんごうこども園　9月12日(火)

講師はバルサミコヤスさん。
いつも明るく元気いっぱい！

好きな色のひもで飾ってできあがり！

むつみのおか幼稚園では「クレイ粘土で作ろう！親子ＤＥチャレンジ」で、年中・年長さん親子がクレイ粘土でポストカード作りに挑戦。クレイ粘土は発泡スチロールを素材にした新しい粘土。手につきにくく混ぜればオリジナルの色が作れます。

ちょっと難しいかなと心配しましたが、講師の千葉由美子さんの説明をよく聞き、始めると次々に発想が広がり、おうちの人と楽しく話し合いながら、それぞれに個性豊かなポストカードができあがりました。みんな自分の作ったオリジナルポストカードにとても満足げ。もっとやりたい！という声も。

午後は大人だけでチャレンジ。素敵なミニケーキを作り、「芸術の秋」にふさわしい家庭教育学級となりました。

日向幼稚園　9月 20 日(水)

日向幼稚園では、家庭教育学級としては初めて「陶芸教室」を実施しました。講師は九十九里在住の山本明さんと５人の仲間たち。５つのグループにそれぞれ講師がついてくれ、丁寧に教えて頂きました。白い粘土でお皿を黒い粘土で一輪挿しを作りました。

お皿は四角・円・猫や魚の形・楕円など、思い思いに形を作り葉っぱやクッキー型・花の型などを押すなど、どのグループも楽しそうに取り組んでいました。

黒い粘土での一輪挿し作りはちょっと緊張しながらの作業。水が漏れないように両脇をしっかりくっつけます。あとはビニールのレースで模様をつけたり、持ち手や飾りを作って取りつけたりとここでも独自の個性が発揮されました。

参加した皆さんは久しぶりに創作意欲を刺激され（？）童心に還って粘土の感触を楽しんでいました。

できあがったお皿と一輪挿し
こちらも世界に一つだけの作品

日向小学校　10月20日(金)　マイ箸作り

マイ箸できあがり

日向小学校では地元の山武杉を使った「マイ箸作り」に挑戦！山武杉についての説明を伺った後、２班に分かれてマイ箸を作りました。山武杉は吉野杉や秋田杉に並ぶ銘木ですが、燃料革命や木材価格の低迷、溝腐病などにより、荒廃が進んでしまったそうです。今はウッドバイオマスプラスチックやペレットストーブの燃料など新しい産業の創出を始めています。なるとうこども園は、山武杉を使って建てられており、軽くて丈夫、美しい心材の赤さなど、その良さが十分に生かされています。また、昨年から誕生祝品として１歳半健診の時に山武杉で作った「積み木」を配布しているそうです。木の温かさと優しさが感じられる積み木は、子供たちの情操を豊かにはぐくんでくれることでしょう。とても好評とのことです。

１歳半健診で配布する山武杉の積み木

柾目に沿って削っていきます

参加した皆さんは、ほとんどの方が初めての体験とあってやや緊張気味でしたが、講師の丁寧な指導により、全員素敵な「マイ箸」ができあがりました。使うのがもったいないという声もありました。子ども達もできるとのことですので、親子で体験してみるのもいいのではないでしょうか。

今号は、芸術の秋にちなんでアートを中心にした家庭教育学級の様子を紹介しました。後半の家庭教育学級にも積極的に参加し、輪と和を広げていっていただきたいと思います。